A4サイズ・片面（縦向き）印刷　　1／7枚	受験番号	※大学記入欄

探究タイプ”C”　④探究活動（成果物）の概要説明書

フリガナ	カンガク　サブロウ
氏名	関学　三郎

探究活動タイプ”C”

特定のテーマに関する学術的考察を重視した探究活動

1．探究活動の成果物（提出書類『① 探究活動の成果物』で提出するもの）

種類　[その他]　※該当するものを選択

<上記 種類 で『その他』を選択した場合のみ（具体的に記入すること）>

授業で提出したレポート

成果物が掲載された媒体（媒体名、発行年、巻・号、掲載ページ、URL等含む）があれば具体的に記入すること

2．探究活動を行った主たる時間

区分　[総合的な探究の時間]　※該当するものを選択

<上記 区分 で『正課外活動』・『その他』を選択した場合のみ（具体的に記入）>

<上記 区分 で『正課外活動』・『その他』を選択した場合のみ、活動期間（ 西暦）を記入>

開始　　年　　月　　終了　　年　　月

主たる指導者とその属性　[在籍する学校の授業を担当する教員]　※該当するものを選択

<上記 属性 で『その他』を選択した場合のみ（具体的（氏名・所属・専門性・経験値等）に記入）>

3．探究活動の人数構成

人数構成　[個人]　※該当するものを選択

グループの場合の構成人数
※グループの場合のみ回答

A4サイズ・片面（縦向き）印刷　　2／7枚	受験番号	※大学記入欄

4．発表の機会・結果　※提出書類 ⑤発表の記録 と記載内容を合わせてください。

※それぞれの発表会区分に複数参加した場合は、最も結果の良かったものを選んでその内容を記入してください。

所属校内での発表会				参加有無	参加	学年	高校2年生
				上記「参加有無」・「学年」は該当するものを選択			
参加者数（聴衆除く）	200	表彰・順位付け有無	無	表彰・順位付け"有"の場合の結果			

他校との合同発表会				参加有無	不参加	学年	
				上記「参加有無」・「学年」は該当するものを選択			
参加者数（聴衆除く）		表彰・順位付け有無		表彰・順位付け"有"の場合の結果			

外部機関が主催する大会やコンテスト等				参加有無	不参加	学年	
				上記「参加有無」・「学年」は該当するものを選択			
参加者数（聴衆除く）		表彰・順位付け有無		表彰・順位付け"有"の場合の結果			
規模		予選有無・予選の備考		備考			

5．探究活動の目的

この探究活動の目的は、学校教育における「学び」の在り方について考察を深めること　である。

6．探究活動のテーマおよびテーマ設定にいたった背景

テーマ　学校教育に求められる学びと実際の高等学校教育での学びの相違

テーマ設定にいたった背景　**※600字以内**（半角・スペースも1文字とカウントします）

私たちは、常日頃から学校で受験勉強を意識した授業を受けている。私たちは受験に向けて模試の点数が上がるよう日々努力している。そして、模試の点数を上げる上で「記憶する力」はとても重要になる。しかし、ある日大学生活をしている兄と食事をしていた私は、兄が高校時代に勉強したことをほとんど記憶していないことに気づいた。そこで、「大学受験のために記憶することは、将来にとって一体何の意味があるのか？」という問いが生まれた。私は日本の教育の特徴について調べた。すると、日本では戦後、受験を中心とした学歴社会が生まれ、知識伝達型の教育方法が積極的に取り入れられるようになってきたことがわかった（ランバス 2000）。また、知識伝達型教育は塾を中心とした教育産業のニーズとも合致し、日本に強く根付いていったという（新月　2015）。

一方、文部科学省（2019）は「主体的・対話的で深い学び」の重要性を説き、2022年入学の1年生からは知識・技能、思考・判断・表現力、主体的に学習に取り組む態度の観点から評価することが求められるようになった。果たして、18歳人口の半分以上が大学受験をする現代において、知識の記憶を中心とした受験指導と主体的・対話的で深い学びを目指した指導の折衷はあり得るのだろうか。上記問題意識から、自分の学校で展開されている教育と教育政策が掲げる方向性の比較検討を行った。

文字数カウント　**587**

A4サイズ・片面（横向き）印刷　　３／７枚

受験番号	※大学記入欄

７．引用文献

※引用文献…自分の言いたいことを説明・証明するために他人の言葉や文章、表や図等を用いることを引用といい、その元の文献のこと

【引用文献】　※探究活動を行った中で重要となる主要な引用文献を最大５つ選択して記入してください。

1	著者名	ランバス K.G		発行年（西暦）	2000　年
	タイトル	日本の教育の変遷			
	媒体名	関西学院出版	ＵＲＬ		
2	著者名	関学花子		発行年（西暦）	2020　年
	タイトル	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて			
	媒体名	クレセント出版	ＵＲＬ		
3	著者名	関学太郎		発行年（西暦）	2019　年
	タイトル	新自由主義と教育産業の結びつき			
	媒体名	日本教育問題研究論文誌16巻5号	ＵＲＬ		
4	著者名			発行年（西暦）	2019　年
	タイトル	高等学校　学習指導要領（平成30年告示）			
	媒体名	高等学校　学習指導要領（平成30年告示）	ＵＲＬ		
5	著者名			発行年（西暦）	2019　年
	タイトル	日本の教育データ最前線～大学受験編～			
	媒体名	プレミアム関学出版	ＵＲＬ	https;premium//jp	

A4サイズ・片面（縦向き）印刷　　4／7枚

受験番号	※大学記入欄

7．引用文献

※引用文献…自分の言いたいことを説明・証明するために他人の言葉や文章、表や図等を用いることを引用といい、その元の文献のこと

	7．に記載した全ての主要文献について、本探究活動における資料内容の位置付けをそれぞれの引用文献ごとに解説してください。 ※本探究活動において、引用した文献の知見がなぜ必要なのか解説する。 ※入力にあたり「A列」の番号が対応するようにしてください。（例：シート「7-1.」『１』（A列、7・8・9行目）に入力した文献については、シート「7-2」A列、4行目の『１』の欄に解説を入力すること）
1	
2	
3	※記入例なし
4	
5	

A4サイズ・片面（縦向き）印刷　　5／7枚

受験番号	※大学記入欄

8．分析・考察結果

※2100字以内（半角・スペースも1文字とカウントします）

※記入例なし

文字数カウント　**0**

受験番号　※大学記入欄

9．探究活動を通して「学んだこと」　**※500字以内（半角・スペースも1文字とカウントします）**

※記入例なし

文字数カウント　**0**

10.　探究活動を通じて得た経験を踏まえて、出願する学部（学科・課程・専修・コース）を志望する理由を述べてください ※800字以内（半角・スペースも1文字とカウントします）

※経験とは、探究活動で取り組んだ分野や内容自体の「学び」だけでなく、 探究活動を通じて得た「学び」や「プロセス」を踏まえて記載してもよい

※記入例なし

文字数カウント　**0**

受験番号	※大学記入欄

11.10の内容以外で、大学入学後にどのような学びを実現したいのかを解説してください

※800字以内（半角・スペースも1文字とカウントします）

※記入例なし

文字数カウント　**0**